

子どもの本だな 143

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

とつてもふしきなクリスマス

ルース・ソーヤー文
バーバ・クーニー絵
掛川 恭子 訳 (ほるぷ出版)

むかし、びんぼうな靴屋が3人の息子と暮らしていました。クリスマス前の晩、家には食べるものがないありません。靴屋は村に仕事に出かけ、子どもたちはベッドにはいり留守番をしていました。そこへ、強い風と一緒に、大きなとんがり帽子をかぶった小さな男が転がり込んできました。男は、こぶしを振り上げ子どもたちを次々にベッドから追い出し「あつたかくなりたいたなら、とんぼ返りをうって、部屋のなかをまわれ」と怒鳴りました。子どもたちが言われた通りとんぼ返りをうつと、ポケットからオレンジ、お菓子、パン、金貨がころがりできました。山の上に暮らす一家に、思いがけないプレゼントをくれた不思議な男はゴブリンの王さまでした。雪景色や子どもたちの表情が丁寧に描かれ、楽しいクリスマスを迎える喜びを感じます。読んでもらえば、7歳から。

(西村)

図書館の本棚 470

人間には12の感覚がある

動物たちに学ぶセンス・オブ・ワンダー
ジャッキー・ヒギンズ 著 夏目 大 訳 文藝春秋 (4813)

著者はオックスフォード大学大学院にて、リチャード・ドーキンス氏に師事した動物学者。本書では、動物の特異な感覚について、そのメカニズムを詳しく説き、人間との共通点、相違点をみることで、人間の感覚をより深く理解しようとして試みている。書名にある「12」は、人間の感覚を12種類とするものではなく、あるいはそれ以上の潜在能力があるかもしれないという。

鮮やかな体色のモンハナシヤコは、12種類の光受容体を持っている。それは人間の3倍で、動物界で最高の色覚装置だが、実際の色覚はかなり大雑把で、微妙な色の識別はできない。一方、人間には先天的に一色覚の人々もいる。彼らは、明るさ・濃淡・形状・質感を細かく見分け、さらに匂いなど多様な感覚情報を同時に感じとることで、豊かなモノクロームの世界を認知している。つまり、感覚とは複数の感覚器官と脳との統合情報なのだ。

音だけを頼りに獲物の位置を正確に把握するフクロウの聴力は、耳の視力といわれるほどだが、聴覚器官は人間のそれと類似していて、特別なものではない。実は人間にも、空間を描く耳の視力がある。目隠しをして部屋の中を歩き回る実験で、被験者は壁の少し手前で壁の存在に気づき、被験者と同じ音を別室で聞いた者もまた、壁の存在を察知した。しかしこの能力にわたし達はふだんは気づいていないのだ。

わたし達は、科学によって、自分たちとは異なる感覚世界の存在を知ることができたが、どれほど情報が与えられても、それを体感することはできない。ただ、五感を開き実験を積むことで、自らの感覚世界を深めることはできる。自身の中に眠るセンス・オブ・ワンダーに出合いたいと思う。

(秋澤)

お知らせ

クリスマス

特別おはなしの時間

冬の特別おはなしの時間を開きます。

・日時：12月20日(土)

① 4才～大人 11:00～11:30

② 小学3年生～大人 11:30～12:00

・場所：おはなしの部屋

※大人の方も入れます。

※途中からは入れません。

開始時間までにお越しください。



◆◇ えほんかるた大会 ◆◇

・日時：1月11日(日) 11:00～

・場所：図書館 読書会室

・対象：4歳～小学校3年生

※園児と小学生は別の組にします。

・定員：15名程度(要申込・抽選)

・申込：図書館窓口または電話

・申込期間：12月1日(月)～1月7日(水)

※抽選結果は、1月8日(木)に当選者に連絡します。

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

▶ ×印は休館日

- ・1/14：祝日の振替
- ・1/30：館内整理日
- ・12/29～1/3
：年末年始休館

※閉館時は返却ポストをご利用ください。ただし、年末年始休館中は利用できません。

▶ 開館時間：

10:00～18:00

※金曜日 10:00～20:00

12月	1月	12・1月の移動図書館(いずれも木曜日です)					
4日	8日			<u>福地(三反長)</u> 地域内 14:30～ 14:50	<u>米田</u> 公会堂 15:00～ 15:20	<u>竹広南</u> 公民館 15:30～ 15:50	
11日	15日			<u>原池団地</u> 公民館 15:00～ 15:20	<u>山田</u> 掲示板前 15:30～ 15:50	<u>原</u> 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20	
18日	22日	<u>広坂</u> 公民館 10:30～ 10:50	<u>上太田</u> 公民館 11:00～ 11:20	<u>塚森</u> 地域内 15:00～ 15:20	<u>太子 ニュータウン</u> 公民館 15:30～ 15:50	<u>吉福</u> 公民館 16:00～ 16:20	

< 年末年始のお知らせ >

●年末年始の特別貸出

下記の期間、貸出期間を3週間に延ばします。冊数もいつもの倍の冊数を借りていただけます。

・特別貸出期間：

12/15(月)～12/28(日)

●年末年始の休館

12/29(月)～1/3(土)

(年始は1/4(日)10時より開館)

※年末年始の休館中、返却ポストは利用できません。

地下水

11月下旬、児童室にクリスマスの本を並べるとどんどん借りられていく。本を読んで、クリスマスを待つ気持ちを一層膨らませていくにちがいない。

新しく入れた『ちいさなクリスマスツリー』(岩波書店)を早々に楽しんだ。貧しい農家にやってきた小さなもみの木。飾りはお母さんの焼いたクッキーだけ。もみの木は外に出かけ、緑の葉と交換にダイヤや真つ赤なきのこ、きらきら光るつららなどを手に入れるが…。楽しい本に出会うと、ちよつとした贈り物をもたらした気分になる。心温まるおはなしを誰に手渡そうかと考えてうきうきする。

いつまでサンタの贈り物があったのかも記憶にないが、枕元の包みを見つけたときの喜びを思い起こすと、いまでも幸せな気持ちになる。毎年贈り物を用意してくれた我が家のサンタに感謝しているが、『グロースターの仕立て屋』や『クリスマスのまえのばん』などいっしょに楽しめていたらどんなに良かったらうと思うのはいらないものねだりだらうか。

(竹内)